

地域で子どもたちを育てるいしべっ子学習教室

湖南省	活動名：いしべっ子学習教室	石部小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：石部まちづくりセンター 年間開催日数：5日(10回) 平均参加人数：54人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他()		開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：13人	

■ 活動の概要・特徴的な活動

長期休業期間に集中して学習に取り組める場を提供し、子どもたちの学習意欲が高まるように支援している。学習教室以外に絵はがき教室、工作教室、書き初めを行った。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

まちづくり協議会に協力を依頼し、会場を校区の中心にあるまちづくりセンターに設定した。まちづくり協議会のみなさんには駐輪場の案内や受付を担当していただき、地域の方が子どもたちを育てる体制づくりを図った。今年度も中学生ボランティアを募集したところ、8名の参加があった。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

学校運営協議会の学習支援委員会が中心となり、協議し、子どもたちが安全に楽しく学習できるように配慮した。宿題のプラス学習としてプリントやオリジナルワークを用意し、終了時間まで集中して学習できるようにした。絵はがき教室では裏面から宛先まで書き、切手を貼る体験もした。貯金箱づくりではカラー粘土を使い、色の三原色の学習も取り入れた。年賀はがき作成では野菜ハンコで野菜の断面について学ぶことができた。初めての書き初めには11名の参加があり少人数で集中して作品を完成させた。



【 中学生ボランティアの参加 】

■ 事業の成果と課題

地域の協力で支えられ、のべ271人の子どもたちが参加し、集中して学習に取り組めた。幅広い年代の地域の方に子どもたちを育てていただきたいという思いより、学生ボランティアの人材確保が必要だと思われる。

報告書記入者(地域学校協働活動推進委員)

みなみっこ 土曜講座 「卒業生に教えてもらった夏休み宿題教室」ミニ先生が大活躍！

湖南省	活動名：夏休み宿題教室	石部南小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：石部南小学校 年間開催日数：4日 平均参加人数：40人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他()		開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：14人	

■ 活動の概要・特徴的な活動

みなみっこ土曜講座では「ふるさと意識の醸成」「自主性の育成」を大きな柱とし、地域に伝わる伝統行事に参加、体験し、地域の特性を生かした活動を行っている。夏休みに開催されている「夏休み子ども教室」は卒業生の活躍する場となっている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

中学生スタッフとして参加してもらうために、事前に中学校地域活動推進員と打合せを行った。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

中学生が主体となって参加する「ミニ先生」は人気があり、子どもたちが誘い合って参加している。参加するにあたって、どんなことをすればよいかを明確に伝えたり、近くで大人の支援員が見守ったりするので、安心して参加することができる。



【 卒業生が宿題を教えている様子 】

■ 事業の成果と課題

- ・支援員が中学生スタッフの見守りをする事で、中学生も安心して小学生に宿題を教えることができた。
- ・夏休み宿題教室に参加している子どもの保護者から「夏休みの宿題を、中学生に教えてもらえるのでとても助かっている」という声をいただいた。
- ・体験教室に参加した低学年の保護者から「中学生や高学年が、低学年の子どもの面倒を丁寧にしてくれた」と、感謝の声を多くいただいた。

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

地域ぐるみで子どもを見守る、育む「さんさん教室」

湖南省	活動名：さんさん教室	三雲小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所:学区内まちづくりセンター等公共施設		開始年度:平成27年度	
年間開催日数:10日		地域学校協働活動推進員数:1人	
平均参加人数:35人		平均スタッフ数:10人	
・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> その他(食育、防災)			

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・夏休みの宿題や自主学習の支援活動、紙コップ工作(UFO キャッチャー他)
- ・防災体験学習(段ボールベッド、非常用トイレ、防災リュック、非常食)
- ・甲西中学校による三雲小学校、三雲東小学校対象のクリスマス会実施(CS共催)
- ・三雲学区まちづくり協議会によるオリジナルパン「にん忍パン」づくりを2/9に実施予定

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・三雲学区まちづくり協議会の協力、連携で各地区のボランティアスタッフを確保し、各会場までの安全面に配慮している。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・子どもには「楽しく」、保護者の方には「安心」していただける活動内容を考えている。
- ・子どもと地域の方が「顔見知り」になる交流を目指し、体験型の内容にしている

■ 事業の成果と課題

- ・従来通りの活動内容に加え、今年度は体験型の防災学習を取り入れた。学んだことを書き込むプリントを熱心に仕上げる姿が多く見られた。
- ・昨年同様、CS 共催クリスマス会は、両校合わせて参加者が 131 名と大盛況だった。中学生実行委員の協力が不可欠なので、小学校高学年が「自分もやってみたい」と思える雰囲気づくりや、声掛けに努めたい。



【 非常用トイレの使い方 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

「みくもっ子・ひがしっ子 クリスマスパティー2024」

湖南省	活動名：ひがしっこ教室	三雲東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所:三雲コミュニティセンター		開始年度:平成26年度	
年間開催日数:10日(開催ペース:7~8月・8回、11月・1回、12月1回)		地域学校協働活動推進員数:1人(兼務1人)	
平均参加人数:30人		平均スタッフ数:11人	
・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()			

■ 活動の概要・特徴的な活動

甲西中学校区の三校(甲西中学校・三雲小学校・三雲東小学校)、学校運営協議会、みくも学区まちづくり協議会と連携して計画、実施している。7~8月には地域で活躍中のボランティアサークルに協力いただき、折り紙アート(うちわ制作)やお抹茶体験、お習字教室と夏休みの課題学習、親子パン教室を開催。11月には三雲東青少年育成学区民会議とコラボし、「あつまれ!ひがしっ子」というスポーツイベント開催。12月23日には、学校運営協議会が主体となり甲西中学校の生徒を実行委員とした三雲小・三雲東小合同企画「みくもっ子・ひがしっ子クリスマスパーティー」を開催。



【 クリスマス会 集合写真 】

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

甲西中学校区でCSを運営している利点を最大限に活用し、小中三校の児童生徒が参加、交流できる内容を考えた。中学生が企画やポスター、参加を呼びかける動画を作成。当日の受付と進行を行った。会場は三校の中間にある三雲小学校体育館。会場内のクリスマス飾りは三雲東小学校で分担し、準備した。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

- ・昨年の反省点を基に、大人だけで考えるのではなく、甲西中学校の実行委員と一緒に、企画・準備について打合せを重ねた。
- ・交流するイベントの内容を楽しく、参加者同士が協力できるものにすることや企画・進行する中学生の姿を見せるようにした。

■ 事業の成果と課題

小学生131人(三雲小102人、三雲東小29人)が参加し、学校・学年をミックスしたグループ16チームによる対抗戦でゲームを楽しんだ。予想以上の参加人数になったのは、児童が楽しみに思える企画だったからだろう。当日は、徐々に慣れて楽しく活動する小学生、企画に加わりドキドキしながらも進行する中学生の姿があり、貴重な経験のできる場となった。昨年に引き続き実行委員の中学2年生に加え、今年から新たに参加する中学1年生も多く、小学生が中学生の姿を目標にしてくれる活動になってきた。今後もこの活動を継続していきたい。

小中の連携、打合せ、準備等に調整が必要なため、年度初めから余裕をもって取り組めるようにしていきたい。

■ その他

内容を「ひがしっこ教室通信」として配布し周知を図った。(ホームページにも掲載)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

できた！わかった！が実感できる土曜教室

湖南省	活動名：土曜教室	岩根小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所:岩根まちづくりセンター 年間開催日数:19日(開催ペース:週・1日) 平均参加人数:6人 ・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()		開始年度:平成22年度 地域学校協働活動推進員数:2人 平均スタッフ数:6人	

■ 活動の概要・特徴的な活動

国語と算数の基礎的内容を窓口とし、「ほめて、認めて、励ます」ことを重視し、自尊感情を高めることを目指している。通常学級で個別の指導・支援を要する児童(3～4年生)のうち、校内の協議結果に保護者の合意が得られた児童を対象として個別の学習支援を実施している。形態は、全体指導者1名と個別支援者約5名と事務局1名でなされている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

事務局は、本校の学校支援員を兼ねているため、児童の実態をよく把握している。支援者は、校区在住の元保育士や教育や福祉等を志す学生等。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

・指導・支援の質が保てる範囲を維持できる人数にすること。
・教室終了後、スタッフで個々の児童の課題を共有し、個に応じた手立てを決定する場を設けている。

■ 事業の成果と課題

- 自力で学習する力がつき始め、学校の宿題である自主学習も意欲的に取り組めた。
- カルタなどのグループワークによって、よりよい人間関係づくりができた。
- 失敗経験が多いため、自信を失っている児童が多い。根気よくほめて認めて励ますことで、児童の自信につながり、自尊感情が高まり、学ぶ意欲を引き出すことができた。
- 新たな支援者の発掘に苦慮している。



【 ほめて 認めて 励ます 】

報告書記入者(校長)

自分たちの地域を知って、いろいろ学ぼう！

湖南省	活動名：学校、地域で学ぶ土曜日授業	菩提寺小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所:菩提寺小学校 年間開催日数:10日(開催ペース:1、2ヶ月1回) 平均参加人数:37人(令和7年1月現在) ・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()		開始年度:平成26年度 地域学校協働活動推進員数:2人(兼務2人) 平均スタッフ数:5人	

■ 活動の概要・特徴的な活動

菩提寺学区には小学校が2校あり、合同開催2回を含め年10回開催している。合同開催時は菩提寺まちづくり協議会の支援を受けている。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

夏休みの勉強会には地域の方、在校生保護者、地元の中学校ボランティア部からと多くの方々に支援いただけた事でスムーズな活動を行うことができた。開催案内用紙に告知を行う事でボランティア活動を幅広く知っていただいている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

学校からのお知らせは配信となりペーパーレスが進んできているが、児童の目に留まり関心をもってもらいやすいように案内を配布している。定期的に発行している広報に開催時の様子や今後の開催予定を掲載することで参加意欲の高揚につながっている。また、参加者側、サポート側ともに充実した時間となるよう気軽に参加できる内容で開催している。

■ 事業の成果と課題

宿題提出に結びつく夏休み中の勉強会や書きぞめ(いずれも長期休暇中の平日)は毎年多くの参加者がある一方、土曜日開催日の参加者は減少傾向にある。地域に根付いた内容や参加意欲がわく活動等工夫が必要である。

■ その他

菩提寺まちづくり協議会のイベントと同日開催することでさらに参加しやすく1日楽しむことができた。



【 指紋採取体験 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

土曜日の教育支援活動～地域の子どもがつながる～ わくわく体験・学習教室

湖南省	活動名: 菩提寺学区土曜日の教育支援活動	菩提寺北小学校	学校運営協議会: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 菩提寺北小学校		開始年度: 平成22年度	
年間開催日数: 10日(開催ペース: 1・2か月に1回)		地域学校協働活動推進員数: 2人	
平均参加人数: 20人		平均スタッフ数: 5人	
活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()			

■ 活動の概要・特徴的な活動

菩提寺まちづくり協議会の支援のもと、菩提寺学区にある菩提寺北小・菩提寺小の2校が合同で年間10回開催している。

【今年度の活動】

- ①警察・消防のお仕事体験 ②学習教室&めだかすくい ③学習教室&風車づくり ④学習教室&バルーンアート
⑤絵画教室 ⑥マジック教室 ⑦クリスマスリース作り ⑧門松作り ⑨習字教室 ⑩おひな様づくり

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

各講座の講師・指導は主に地域の方やボランティア団体、まちづくり協議会の委員にお願いしている。今年度の第1回警察・消防のお仕事体験には菩提寺派出所や地域の消防署全面協力のもと、パトカー・消防車の見学や、指紋採取体験・放水体験など本格的な町を守るお仕事体験をすることができた。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

夏休みの学習教室への参加者が年々減少傾向にあるので、学習時間の後に毎回違った「お楽しみ時間」を設けてみた。

お楽しみ時間の内容 (メダカすくい・バルーンアート・風車づくり)



【 学習教室の後のメダカすくい 】

■ 事業の成果と課題

警察・消防のお仕事体験にはたくさんの親子参加があり、中には「兄弟姉妹が多く普段

あまりかまっていられないが、今日は下の子を預けて2人で参加しました。」という

保護者がいて、子どもは自分だけがお母さんと一緒に過ごす時間ができてとても嬉しそうだった。

夏休みの学習教室はお楽しみ時間を設けたことで、参加者が昨年度に比べかなり増えた。

■ その他

菩提寺まちづくり協議会の参加者への保険・材料費などの支援が非常にありがたく、事業を継続できる要因になっている。

親子参加の講座には家庭教育支援員も協力員として参加しているので保護者との顔繋ぎにもなっている。

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

「あきんど」ってなんだろう? 「ものを売る」ってどうするの? ～あきんど下田っ子～

湖南省	活動名: しもだっこ土曜教室	下田小学校	学校運営協議会: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 下田小学校		開始年度: 平成26年度	
年間開催日数: 10日(開催ペース: 月1日)		地域学校協働活動推進員数: 2人(兼務2人)	
平均参加人数: 10人		平均スタッフ数: 10人	
活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()			

■ 活動の概要・特徴的な活動

下田地域には歴史ある商店街があり、子どもたちも地域についての学習や、買い物に利用することはあるが、「あきない」を営むことや「三方よし」とはどういうことなのか、「ものを売るとは」どうすればいいのかなど、詳しいことを知る機会がなかった。そこで、商工会下田支部の方々に企画の協力をお願いし、今回の「あきんど下田っ子」を実施するに至った。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

商工会下田支部の方々に活動の趣旨についてご理解とご協力をしていただけだったので、「あきんど」について学ぶ講座を実施するにあたり、講師として商工会の方に来ていただき子どもたちに「あきんど」や「三方よし」、下田の「あきんど」のすごさを語っていただいた。そして、「下田商工夏まつり」や「近江下田元気マルシェ」にも出店させていただき販売体験を実施することができた。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

3年生から参加できるように企画段階から進めたことで、6年生が卒業しても経験者の在校生が次年度も参加できる仕組みになっている。

■ 事業の成果と課題

夏まつりやマルシェに出店し、販売体験をしたことで子どもたちが「次はどうすればお客さんに来てもらえるか?」など、主体的に活動に関わることができた。次年度以降も商工会下田支部の方々にご協力いただけるように説明とお願いを繰り返していく。

■ その他

今回は下田小学校創立150周年記念事業とも協力し、150周年記念グッズを制作、販売した。

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

湖南省	活動名：水戸っ子 学ぶ力アップ！教室	水戸小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所:水戸学区 年間開催日数:13日 平均参加人数:20人 ・活動内容: <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()		開始年度:平成 26 年度: 地域学校協働活動推進員数:2人(兼務2人) 平均スタッフ数:3人	

■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・水戸菜園での芋づくり
- ・まちづくりフェスタへの参加
- ・夏休み・休みの小中連携事業
- ・外国にルーツのある児童の勉強会

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

自治会、まち協と協力し地域の中で子どもたちが活躍できる場をつくっている。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

外国にルーツのある児童の勉強会を毎年夏休み、冬休みにボランティアに協力いただき実施している。一人一人に寄り添い声をかけていただくことでやる気もち、自分で考え取り組む姿があった。地域の菜園での活動や小中連携事業での体験をととても楽しんでた。ボランティアには子どもたちが「できた」という自信が持てるような声かけをお願いしている。

■ 事業の成果と課題

外国にルーツをもつ児童が多く多様な文化を受け入れることができる反面、言語や習慣の違いにより児童のつながりが強まりにくいところがある。人と関わる中でお互いを認め合い助け合える“思いやりの心”や“地域を愛する心”を育み子どもたちの未来へつながる取組としたい。

■ その他

湖南省と草津市の民生委員が「共生」をテーマに行った交流会で、水戸学区や水戸小の外国にルーツのある子どもたちへの活動報告依頼がありコーディネーターが参加、発表する機会をいただいた。環境は異なるがお互いの活動の良い所を学ぶことができた。



【 外国にルーツのある子の勉強会 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）